

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する現地調査

2. 日時：令和5年8月25日（金）9時00分～15時00分

3. 場所：日本原子力発電株式会社敦賀発電所

4. 出席者

原子力規制委員会

更田参事

原子力規制庁

長官官房 総務課

西村地域原子力規制総括調整官（福井担当）

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

佐藤上席特殊施設分析官、安部室長補佐、岩野調整係長

5. 対応者

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所 寺谷所長 他28名

6. 要旨

○東京電力福島第一原子力発電所事故の調査・分析の一環として、日本原子力発電株式会社敦賀発電所1号機の格納容器内チラー系統及び非常用復水器（以下「IC」という。）について、以下の観点の調査を実施した。

・福島第一原子力発電所1号機で確認された、原子炉補機冷却系統（以下「RCW系統」という。）を經由して格納容器外に放射性物質による汚染が拡大した事象及びRCW系統内に水素が滞留した事象への理解を深めるために、敦賀発電所1号機の同系統に該当する格納容器チラー系統の設備の状況等の調査。

・東京電力福島第一原子力発電所事故時に、福島第一原子力発電所1号機のICが十分に機能しなかった原因の検討に資するために、敦賀発電所1号機のICの状況等の調査。

7. 資料

なし

以上